



運用報告書(全体版)第16期(2019年11月1日~2020年10月31日)

バンガード®・インターナショナル・エクイティ・インデックス・ファンズ・
バンガード・パシフィック・ストック・インデックス・ファンド
Vanguard International Equity Index Funds -
Vanguard Pacific Stock Index Fund

米ドル建/オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト ETFクラス受益証券

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、バンガード・インターナショナル・エクイティ・インデックス・ファンズ・バン
ガード・パシフィック・ストック・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券(以下
「ファンド」といいます。)は、このたび、第16期の決算を行いました。ここに、運用状況
をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

<ファンドの仕組み>

ファンド形態	米ドル建/オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、太平洋地域の主要市場に所在する企業により発行される株式の投資収益を計測するベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。
主要投資対象	下記「運用方法」をご参照ください。
運用方法	ファンドは、その資産の全て、または実質上全てを FTSE アジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックス(FTSE Developed Asia Pacific All Cap Index)に含まれる普通株式に投資することによりインデックス投資手法を用います。FTSE アジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックスは、日本、韓国、オーストラリア、香港、シンガポールおよびニュージーランドに所在する大、中、小規模の企業約 2,373 社の普通株式により構成される時価総額加重型インデックスです。
投資制限	ファンドは、以下の基本的投資方針に従わなくてはなりません。基本的投資方針はファンドの受益証券の過半数にあたる受益者の承諾がなければ、いかなる方法によっても変更することはできません。かかる目的上、「過半数」の受益証券とは、ファンドの純資産の 50%以上に相当する受益証券を有する受益者または委任状を有する代理人が出席した上でのファンドの純資産の 67%以上の賛成投票を表象する受益証券、または ファンドの純資産の 50%以上を表象する受

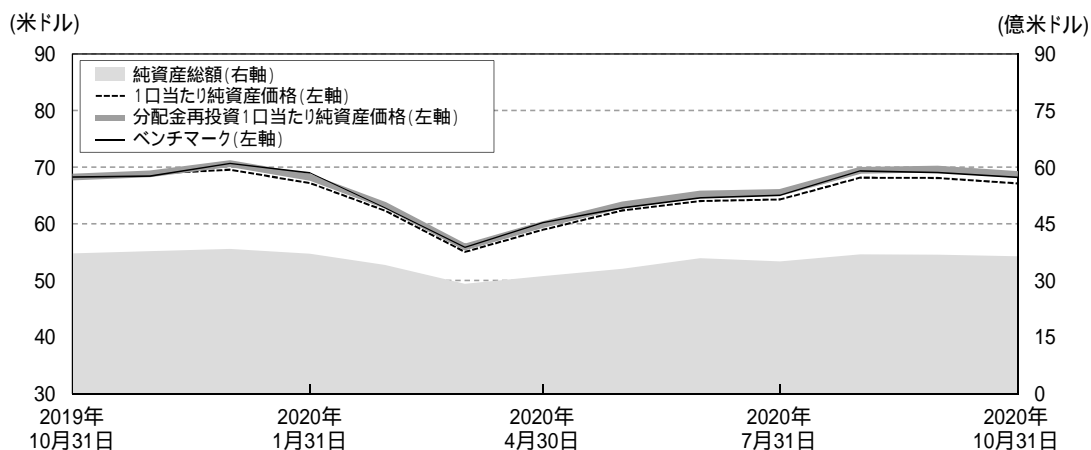
	<p>益証券のいずれか少ない方をいいます。</p> <p>(i) 借入れ ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する米国証券取引委員会 (SEC) もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、借入れを行うことができます。</p> <p>(ii) コモディティ ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、コモディティへの投資を行うことができます。</p> <p>(iii) 分散 ファンドの総資産の 75% について、ファンドは、いずれか単一発行体の発行済議決権付証券の 10% 以上を購入すること、結果的にファンドの総資産の 5% 以上が当該発行体の証券に投資されることとなるような場合に、当該発行体の証券を購入することはできません。本制限は、米国政府またはその機関もしくは下部組織の債務には適用されません。さらに、ファンドは、(1986 年米国内国歳入法 (改訂済) で定義される米国政府証券以外の) 単一発行体の証券の保有総額が、課税年度の各四半期末時点でファンドの総資産の 25% までに制限されています。</p> <p>(iv) 同一業種への集中投資 ファンドは、目標とするインデックスの構成に近似させるために必要な場合を除いて、主要な事業活動が同一業種または同一業界の発行者の証券に投資を集中させてはなりません。</p> <p>(v) 貸付け ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合に限り、他の者への貸付けを行うことができます。</p> <p>(vi) 不動産 ファンドは、証券その他の金融商品を保有する結果として取得される場合を除き、不動産に直接投資することはできません。この制限は、ファンドが (1) 不動産への投資、取引もしくは別の方法で不動産取引に携わる会社が発行する、または (2) 不動産もしくは不動産の持分により裏付けられもしくは担保される、証券その他の金融商品に投資することを妨げません。</p> <p>(vii) 優先証券 ファンドは、米国 1940 年投資会社法その他の適用法令、これらに基づく規則、またはファンドの監督権限を有する SEC もしくは他の規制当局により許可されている場合を除き、優先証券を発行することはできません。</p> <p>(viii) 引受け ポートフォリオ証券の売買に関連し、ファンドが米国 1933 年証券法上の意味における引受会社とみなされる場合を除き、ファンドは他の発行者の証券の引受会社としての業務を行うことはできません。</p>
<p>分配方針</p>	<p>ファンドは、受益者に対して、純インカム所得 (利息および配当から費用を控除した額) および保有する資産の売却によって実現した短期または長期の純キャピタル・ゲインの実質的全額を分配します。ファンドは、時に、キャピタルリターン (元本の払戻し) として取り扱われる分配を行うこともあります。インカム分配は、通常、四半期毎の 3 月、6 月、9 月、12 月に支払われます。利益の分配 (もしあれば) は通常毎年 12 月に行われます。さらに、ファンドは、随時、追加的な分配を年度の一定時点で行うことがあります。</p> <p>ファンドは随時、予想されたより高い分配金を支払うことがあります。ファンドは、インデックス・ファンドとして、ベンチマークとするインデックスの変更を反映させる</p>

	<p>ために保有銘柄を調整する必要があります。場合によっては、かかる調整により価格が上昇している有価証券を売却せざるを得ないことがあり、したがって、受益者に分配しなければならないキャピタル・ゲインを実現することになります。有価証券がインデックスから外れる理由はいくつかあり、企業の合併・買収、発行体の時価総額の大幅な変動、または新興市場から先進国市場への変更など、ある国の市場における地位の変更が含まれます。</p>
--	--

I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移

(1) 運用の経過

1口当たり純資産価格の推移等



- (注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第15期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注3) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮しておりません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。
- (注4) ファンドのベンチマークは、スプライスト・パシフィック・ストック・インデックスです。スプライスト・パシフィック・ストック・インデックスとは、2013年3月26日まではMSCIパシフィック・インデックス、2015年9月30日まではFTSEディベロップド・アジア・パシフィック・インデックス、その後はFTSEアジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックスをいいます。
- (注5) ベンチマークは、第15期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

バンガード・パシフィック・ストック・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券(ティッカー:VPL)は、「バンガード・FTSE・パシフィックETF」と称することがあります。また、本書においては、当ファンドの名称を英文アニュアルレポートに記載の英語名称で表記する場合や、ETFクラス受益証券を「ETF受益証券」と表記する場合があります。

2019年10月31日から2020年10月31日までのファンドのパフォーマンス

	期初の価格	期末の価格	1口当たり分配金	
			インカム分配	キャピタルゲイン
ファンド	68.25 米ドル	67.11 米ドル	1.626 米ドル	0.000 米ドル

2020年10月31日に終了する期間までの年間平均トータルリターン

	1年	5年	10年	投資額 10,000 米ドル に対する最終価格
ファンド 純資産価格	0.68%	5.83%	5.11%	16,466 米ドル
ファンド 市場価格	1.00	5.84	5.16	17,707
ベンチマーク	-0.11	5.57	5.13	16,487
FTSE グローバル・オールキャップ(除 く米国)インデックス	-2.10	4.47	3.75	14,452

(注1) トータルリターンは、表示通貨(米ドル)建ての純資産価格に基づき計算されております。

(注2) ETF 受益証券について、市場価格は、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時(通常、米国東部標準時間時午後4時)の呼値スプレッドの中間値によって決定されます。ファンド総資産の市場価格から負債を控除し、発行済ファンド受益証券口数で除すことにより計算される純資産価格もまた、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時に決定されます。

分配金について

当期（2019年11月1日～2020年10月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 （対1口当たり純資産 価格比率 ^{（注1）} ）	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^{（注2）}
2019年12月23日	69.54	1.0691 (1.51%)	4.25
2020年3月23日	48.76	0.0115 (0.02%)	-20.77
2020年6月22日	64.87	0.2311 (0.35%)	16.34
2020年9月21日	67.92	0.3139 (0.46%)	3.36

（注1）「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率（\%）} = 100 \times a / b$$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

（注2）「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

（注3）2019年12月23日の直前の分配落日（2019年9月24日）における1口当たり純資産価格は、66.36米ドルでした。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

ファンドのパフォーマンス

- 2020年10月31日に終了した12か月間におけるバンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンドのリターンは、インベスター受益証券の-8.68%から、ETF受益証券の-8.50%までの幅がありました。バンガード・パシフィック・ストック・インデックス・ファンドのリターンは、インベスター受益証券の+0.52%から、インスティテューショナル受益証券の+0.72%までの幅がありました。パシフィック・ファンドのリターンは、ファンドの基準価額（NAV）の算定に用いられている銘柄の価格と、同一銘柄の相場価格または公表価格との差異が一因となり、インデックスの-0.11%のリターンを上回りました。
- 当期は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行およびこれを抑制するための努力を特徴としていました。しかし、政策立案者の対応、ワクチンおよび治療の試験の開始ならびに一部の制限の緩和により、投資家心理が改善しました。米国株式市場は、新興国市場および特に米国以外の先進国市場よりも良好なパフォーマンスを見せました。
- 英国、フランスおよびスペインがヨーロピアン・ファンドのパフォーマンスを最も大きく引き下げました。セクターの中では、金融およびエネルギーが最大のマイナス要因となりました。
- パシフィック・ファンドでは、日本株への組入比率が高いことや、韓国への組入比率が低いことがプラスのリターンを生じましたが、これらは、オーストラリア、香港およびシンガポールにおけるマイナスの運用成績によって相殺されました。セクター別でファンドの組入比率が最も高い金融が最も大きく値を下げました。

* 上記の記述は、Vanguard European Stock Index Fund および Vanguard Pacific Stock Index Fund のクラス受益証券すべて（ファンドのETF受益証券を含みます。）についてのものです。

(2) 今後の運用方針

ファンドは、太平洋地域の主要市場に所在する企業により発行される株式の投資収益を計測するベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。今後も投資方針に従い、引き続き運用を行います。

(3) 費用の明細

項目	項目の概要		注
管理費用	純資産価額の年率 0.05%	管理的性格の業務および 事業運営にかかる業務の 対価	費用の料率は、2021年 2月26日付英文目論見 書に記載された現会計 年度の見込み費用で す。 2020年10月31日に終 了した会計年度におい て、費用料率は合計 0.08%でした。
12b-1 販売費 用	なし	該当なし	
その他の費用	0.03%	ファンドが負担したその 他の費用金額	
ファンドの年次 運営費用合計	0.08%		

II. 運用実績

純資産の推移

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	百万米ドル	日本円(百万円)	米ドル	日本円
第7会計年度末 (2011年10月末日)	1,472	153,971	51.18	5,353
第8会計年度末 (2012年10月末日)	1,563	163,490	50.57	5,290
第9会計年度末 (2013年10月末日)	2,645	276,667	61.71	6,455
第10会計年度末 (2014年10月末日)	2,760	288,696	60.80	6,360
第11会計年度末 (2015年10月末日)	2,931	306,583	57.65	6,030
第12会計年度末 (2016年10月末日)	3,217	336,498	59.92	6,268
第13会計年度末 (2017年10月末日)	5,015	524,569	71.13	7,440
第14会計年度末 (2018年10月末日)	3,927	410,764	64.24	6,720
第15会計年度末 (2019年10月末日)	3,708	387,857	68.25	7,139
第16会計年度末 (2020年10月末日)	3,630	379,698	67.11	7,020

(注1) 米ドルの円貨換算は、2020年10月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=104.60円)によります。

(注2) ETF受益証券の設定日は、2005年3月4日です。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入しているため合計の数字が一致しない場合があります。円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

分配の推移

	1口当たり分配金	
	米ドル	日本円
第7会計年度	2.243	235
第8会計年度	2.344	245
第9会計年度	1.707	179
第10会計年度	1.687	176
第11会計年度	1.383	145
第12会計年度	1.410	147
第13会計年度	1.662	174
第14会計年度	1.845	193
第15会計年度	1.884	197
第16会計年度	1.626	170

投資資産(2020年10月末日現在)

下記「IV.ファンドの経理状況」の純資産計算書を参照ください。

III. 純資産計算書

(2020年10月末日)

	千米ドル	日本円(百万円)
総資産額 (Vanguard Pacific Stock Index Fund 全体)	6,359,873	665,243
総負債額 (Vanguard Pacific Stock Index Fund 全体)	41,119	4,301
純資産価額(ファンド)	3,630,137	379,712
発行済み受益証券総数(ファンド)	54,092,581 口	
1口当たり純資産価格(ファンド)	67.11 米ドル	7,020 円

VI. ファンドの経理状況

独立登録会計事務所の監査報告書

Vanguard International Equity Index Funds の受託者会、ならびに Vanguard European Stock Index Fund および Vanguard Pacific Stock Index Fund の受益者各位

財務諸表に対する意見

私どもは、添付の Vanguard European Stock Index Fund および Vanguard Pacific Stock Index Fund (Vanguard International Equity Index Funds を構成するファンドのうちの 2 ファンドで、以下総称して「ファンド」という。)の 2020 年 10 月 31 日現在の投資明細表—投資サマリーを含む資産・負債計算書、関連する 2020 年 10 月 31 日に終了した年度の損益計算書、2020 年 10 月 31 日に終了した 2 年度のそれぞれの期間の純資産変動計算書、関連する注記および 2020 年 10 月 31 日に終了した 5 年度のそれぞれの期間の財務ハイライト(以下総称して「当財務諸表」という。)を監査した。私どもの意見では、当財務諸表は、すべての重要な点において、それぞれのファンドの 2020 年 10 月 31 日現在の財政状態、同日に終了した年度の運用成績、2020 年 10 月 31 日に終了した 2 年度のそれぞれの期間の純資産の変動、および 2020 年 10 月 31 日に終了した 5 年度のそれぞれの期間の財務ハイライトを、米国において一般に公正妥当と認められている会計原則に準拠して適正に表示している。

意見表明の基礎

これらの財務諸表は、当ファンドの経営陣の責任である。私どもの責任は私どもの監査に基づきファンドの財務諸表に関する意見を表明することである。私どもは、公開企業会計監視委員会(米国)('PCAOB')に登録している公認会計士事務所であり、米国連邦証券法ならびに適用される証券取引委員会および PCAOB の規則および規定に準拠して、ファンドに関して独立していることが義務付けられている。

私どもは、PCAOB の基準に準拠して、当財務諸表の監査を実施した。これらの基準は、誤謬または不正のいずれによるかにかかわらず、当財務諸表に重大な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、私どもが監査を計画し実施することを要求している。

私どもの監査には、誤謬または不正のいずれによるかにかかわらず、当財務諸表に重大な虚偽表示があるリスクを評価するための手続きの実施、およびそれらのリスクに対応する手続きの実施が含まれていた。かかる手続きには、試査による当財務諸表の金額および開示を裏付ける証拠の検証が含まれていた。私どもの監査にはまた、使用された会計原則および経営陣による重要な見積りの検討、ならびに当財務諸表の全般的な表示の評価も含まれていた。私どもの手続きには、2020 年 10 月 31 日現在におけるカストディアンおよびブローカーに対する書面による有価証券の確認ならびに名義書換事務代行会社の所有持分の記録との照合による有価証券の確認が含まれ、ブローカーからの回答を受領しなかった場合には、私どもは他の監査手続きを実施した。私どもは、私どもの監査が、私どもの意見表明に関する合理的な基礎を与えるものであると確信している。

プライスウォーターハウスクーパース LLP
ペンシルバニア州フィラデルフィア、
2020 年 12 月 17 日

私どもは、1975 年より Vanguard Group of Funds の 1 社以上の投資会社の監査人を務めている。

財務諸表

投資明細表 - 投資サマリー

2020年10月31日現在

この計算書は、ファンドの保有銘柄を資産種類ごとに要約したものである。ファンドの保有上位各 50 銘柄およびいかなる発行体に対しても総額でファンド純資産の 1%以上を占める投資に関しては詳細を報告している。それより小さな保有割合の総額は、各分類内で一つの金額として報告されている。

当ファンドは、各会計年度中 4 回、証券取引委員会 (SEC) にポートフォリオの保有銘柄の完全な明細書を提出している。第 2 四半期と第 4 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストを、vanguard.com またはフォーム N-CSR による報告書で閲覧することができる。また、800-662-7447 に電話すると無料で郵送してもらうことができる (訳注: 日本の受益者については適用されない)。各会計年度の第 1 四半期と第 3 四半期については、フォーム N-PORT による報告書の別紙として当ファンドの保有銘柄の完全なリストを閲覧することができる。当ファンドのフォーム N-CSR およびフォーム N-PORT による報告書は、SEC のウェブサイト www.sec.gov で閲覧することができる。

	株数	市場価格 (千米ドル)	純資産に 占める割合
普通株式			
オーストラリア			
CSL Ltd.	408,161	82,636	1.3%
Commonwealth Bank of Australia	1,595,433	77,461	1.2%
BHP Group Ltd.	2,651,388	63,558	1.0%
Westpac Banking Corp.	3,248,466	41,116	0.7%
National Australia Bank Ltd. (XASX)	2,958,620	38,708	0.6%
Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	2,555,996	33,920	0.5%
Wesfarmers Ltd.	1,017,930	32,950	0.5%
Woolworths Group Ltd.	1,138,214	30,618	0.5%
Macquarie Group Ltd.	294,754	26,280	0.4%
Transurban Group	2,465,540	23,348	0.4%
§.1 オーストラリア—その他 †		567,970	9.0%
		1,018,565	16.1%
§.1 中国 †		1,047	0.0%
香港			
AIA Group Ltd.	10,892,912	103,670	1.6%
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.	1,140,064	54,630	0.9%
§.1 香港—その他 †		310,680	4.9%
		468,980	7.4%
日本			
Toyota Motor Corp.	2,213,625	145,318	2.3%
Sony Corp.	1,097,339	91,481	1.4%
SoftBank Group Corp.	1,325,470	86,333	1.4%
Keyence Corp.	161,466	73,277	1.2%
Nintendo Co. Ltd.	95,895	51,849	0.8%
Shin-Etsu Chemical Co. Ltd.	357,850	47,797	0.7%
Daiichi Sankyo Co. Ltd.	1,714,347	45,248	0.7%
Daikin Industries Ltd.	237,473	44,439	0.7%

	株数	市場価格 (千米ドル)	純資産に 占める割合
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc.	11,103,572	43,769	0.7%
Recruit Holdings Co. Ltd.	1,132,512	43,093	0.7%
Takeda Pharmaceutical Co. Ltd.	1,365,224	42,189	0.7%
Nidec Corp.	417,466	42,165	0.7%
KDDI Corp.	1,528,666	41,358	0.6%
NTT DOCOMO Inc.	1,018,929	37,940	0.6%
Hoya Corp.	326,446	36,842	0.6%
FANUC Corp.	172,868	36,514	0.6%
Honda Motor Co. Ltd.	1,539,586	36,416	0.6%
Tokyo Electron Ltd.	132,884	35,668	0.6%
Murata Manufacturing Co. Ltd.	506,179	35,498	0.6%
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc.	1,170,388	32,399	0.5%
Fast Retailing Co. Ltd.	45,980	32,073	0.5%
Kao Corp.	418,125	29,770	0.5%
ITOCHU Corp.	1,223,892	29,396	0.5%
SoftBank Corp.	2,485,167	28,921	0.4%
Mizuho Financial Group Inc.	2,293,237	28,234	0.4%
Hitachi Ltd.	833,328	28,087	0.4%
SMC Corp.	51,629	27,462	0.4%
Tokio Marine Holdings Inc.	578,524	25,857	0.4%
M3 Inc.	379,588	25,636	0.4%
Mitsubishi Corp.	1,084,621	24,199	0.4%
Oriental Land Co. Ltd.	168,790	23,627	0.4%
Nippon Telegraph & Telephone Corp.	1,102,086	23,183	0.4%
Astellas Pharma Inc.	1,675,701	22,979	0.4%
NTT Data Corp.	570,557	6,439	0.1%
Hino Motors Ltd.	241,256	1,848	0.0%
日本—その他 †		2,344,787	37.1%
		3,752,091	59.4%
ニュージーランド †		63,089	1.0%
シンガポール			
DBS Group Holdings Ltd.	1,608,613	23,962	0.4%
§ シンガポール—その他 †		137,326	2.2%
		161,288	2.6%
韓国			
Samsung Electronics Co. Ltd.	4,236,102	212,930	3.4%
SK Hynix Inc.	464,928	32,983	0.5%
Samsung Electronics Co. Ltd. Preference Shares	733,650	32,636	0.5%
NAVER Corp.	118,937	30,433	0.5%
§.1 韓国—その他 †		496,855	7.9%
		805,837	12.8%
普通株式総額(取得原価 6,851,009 米ドル)		6,270,897	99.3%

	クーポン	口数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
短期現物投資				
マネー・マーケット・ファンド				
^{2,3} Vanguard Market Liquidity Fund	0.112%	432,515	43,251	0.7%
⁴ 米国政府および政府機関債 †			2,000	0.0%
短期現物投資合計(取得原価 45,251 米ドル)			45,251	0.7%
⁵ 投資総額(取得原価 6,896,260 米ドル)			6,316,148	100.0%
その他資産および負債—純額			2,606	0.0%
純資産			6,318,754	100.0%

取得原価金額単位:千米ドル

• 財務諸表の注記 A を参照

§ 当ファンドの証券の一部は、重要な観察不能なインプットを用いて評価される。

† 保有上位 50 銘柄に含まれず、またいかなる発行体に対しても全体で純資産の 1% 以下である有価証券の総額を区分ごとに表示したものである。

- 一部の証券は、1933 年証券法のルール 144A に基づき登録を免除されている。かかる証券は、登録を免除された取引で通常適格機関投資家の買い手に売却される。2020 年 10 月 31 日現在、かかる証券の総額は 30,733,000 米ドルで、純資産の 0.5% である。
- バンガード・ファンドならびにバンガードが管理する一部の信託および口座にのみ利用可能な関連会社のマネー・マーケット・ファンド。提示されているレートは 7 日間の利回りである。
- 貸付有価証券に係る受取担保額は 38,080,000 米ドルである。
- 2,000,000 米ドルの証券は、未決済の先物契約の当初証拠金として分別されている。
- 貸付有価証券の時価総額は 33,618,000 米ドルである。

期末時点における金融派生商品残高

先物契約

	満期	ロング(ショート) 契約数	想定元本	(千米ドル) 価値および 未実現評価益 (評価損)
ロング先物契約				
KOSPI 200 インデックス	2020 年 12 月	110	7,314	(235)
S&P ASX 200 インデックス	2020 年 12 月	96	9,936	(48)
TOPIX インデックス	2020 年 12 月	212	31,852	(1,036)
				(1,319)

先渡為替契約

カウンターパーティー	契約 決済日	契約額(千)				未実現 評価益 (千米ドル)	未実現 (評価損) (千米ドル)
		受取		支払			
HSBC Bank USA, N.A.	1/14/21	AUD	7,118	USD	5,137	—	(131)
Morgan Stanley Capital Services LLC	1/14/21	JPY	868,893	USD	8,322	—	(13)
BNP Paribas	1/14/21	USD	8,241	JPY	868,893	—	(68)
						—	(212)

AUD—豪ドル
JPY—日本円
USD—米ドル

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

資産・負債計算書

2020年10月31日現在

(単位:千米ドル、ただし口数および1口当たり金額を除く)

	金額
資産	
投資有価証券、評価額	
関連会社以外の発行体(取得原価 6,853,009 米ドル)	6,272,897
関連会社発行体(取得原価 43,251 米ドル)	43,251
投資有価証券合計	6,316,148
バンガードへの投資	270
非米国通貨、評価額(取得原価 6,759 米ドル)	6,828
差入現金担保—先物契約	1,256
売却投資有価証券未収金	24
未収収益	31,593
受益証券発行未収金	1,199
その他資産	2,555
資産合計	6,359,873
負債	
カストディアンに対する未払金	2,071
購入投資有価証券未払金	33
貸付有価証券に係る受取担保額	38,080
受益証券買戻未払金	444
バンガードに対する未払金	279
未実現評価損—先渡為替契約	212
負債合計	41,119
純資産	6,318,754

2020年10月31日現在の純資産構成は以下の通りである。

(単位:千米ドル、ただし口数および1口当たり金額を除く)	金額	
	(千米ドル)	(百万円)
払込資本金	7,044,965	736,903
分配可能利益(損失)総額	(726,211)	(75,962)
純資産	6,318,754	660,942
インベスター受益証券 - 純資産		
発行済み受益証券 764,980 口(額面 0.001 米ドル、無制限授權)	9,782	1,023
1口当たり純資産価格 - インベスター受益証券	\$12.79	¥1,338
ETF 受益証券 - 純資産		
発行済み受益証券 54,092,581 口(額面 0.001 米ドル、無制限授權)	3,630,137	379,712
1口当たり純資産価格 - ETF 受益証券	\$67.11	¥7,020
アドミラル受益証券 - 純資産		
発行済み受益証券 27,456,618 口(額面 0.001 米ドル、無制限授權)	2,278,815	238,364
1口当たり純資産価格 - アドミラル受益証券	\$83.00	¥8,682
インスティテューショナル受益証券 - 純資産		
発行済み受益証券 31,502,264 口(額面 0.001 米ドル、無制限授權)	400,020	41,842
1口当たり純資産価格 - インスティテューショナル受益証券	\$12.70	¥1,328

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

損益計算書

	2020年10月31日に 終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)
投資収益		
収益		
配当 ¹	153,612	16,068
利息 ²	98	10
貸付有価証券 - 純額	3,164	331
収益総額	156,874	16,409
費用		
バンガード・グループ費用 - 注記 B		
投資顧問サービス	940	98
マネジメントおよび管理 - インベスター受益証券	3	0
マネジメントおよび管理 - ETF 受益証券	1,401	147
マネジメントおよび管理 - アドミラル受益証券	1,628	170
マネジメントおよび管理 - インスティテューショナル受益証券	200	21
マーケティングおよび販売 - インベスター受益証券	1	0
マーケティングおよび販売 - ETF 受益証券	120	13
マーケティングおよび販売 - アドミラル受益証券	105	11
マーケティングおよび販売 - インスティテューショナル受益証券	12	1
カストディー報酬	593	62
監査報酬	49	5
受益者報告 - インベスター受益証券	6	1
受益者報告 - ETF 受益証券	497	52
受益者報告 - アドミラル受益証券	35	4
受益者報告 - インスティテューショナル受益証券	30	3
受託者報酬および費用	5	1
費用総額	5,625	588
間接支払費用	(125)	(13)
費用純額	5,500	575
純投資収益	151,374	15,834
純実現利益(損失)		
売却投資有価証券 ^{2,3}	(113,214)	(11,842)
先物契約	5,369	562
先渡為替契約	551	58
非米国通貨	(1,028)	(108)
純実現利益(損失)	(108,322)	(11,330)
未実現評価益(評価損)の変動		
投資有価証券 ²	(54,994)	(5,752)
先物契約	(3,094)	(324)
先渡為替契約	(324)	(34)
非米国通貨	255	27
未実現評価益(評価損)の変動	(58,157)	(6,083)
運用による純資産の純増加(減少)額	(15,105)	(1,580)

- 1 配当額は、海外における源泉税 12,039,000 米ドルを控除した後の金額である。
- 2 当ファンドの関連会社からの利息収益、純実現利益(損失)および未実現評価益(評価損)の変動は、それぞれ 73,000 米ドル、(3,000 米ドル)および 8,000 米ドルであった。購入および売却は、短期現物投資目的による。
- 3 現物償還もよる純利益(損失) 39,092,000 米ドルを含む。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

純資産変動計算書

	2020年10月31日に 終了した年度		2019年10月31日に 終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)	(千米ドル)	(百万円)
純資産の増加(減少)				
運用				
純投資収益	151,374	15,834	188,529	19,720
純実現利益(損失)	(108,322)	(11,330)	66,648	6,971
未実現評価益(評価損)の変動	(58,157)	(6,083)	342,615	35,838
運用による純資産の純増加(減少)額	(15,105)	(1,580)	597,792	62,529
分配¹				
インベスター受益証券	(244)	(26)	(4,688)	(490)
ETF 受益証券	(89,477)	(9,359)	(112,354)	(11,752)
アドミラル受益証券	(57,428)	(6,007)	(64,861)	(6,784)
インスティテューショナル受益証券	(10,826)	(1,132)	(13,355)	(1,397)
分配総額	(157,975)	(16,524)	(195,258)	(20,424)
資本持分取引				
インベスター受益証券	(1,158)	(121)	(219,358)	(22,945)
ETF 受益証券	14,284	1,494	(440,973)	(46,126)
アドミラル受益証券	(145,559)	(15,225)	146,193	15,292
インスティテューショナル受益証券	(96,202)	(10,063)	34,023	3,559
資本持分取引による純増加(減少)額	(228,635)	(23,915)	(480,115)	(50,220)
増加(減少)総額	(401,715)	(42,019)	(77,581)	(8,115)
純資産				
期首	6,720,469	702,961	6,798,050	711,076
期末	6,318,754	660,942	6,720,469	702,961

1 一部の過年度の金額は、当年度の表示に合わせて組み替えられている。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

財務諸表注記

Vanguard Pacific Stock Index Fund は、1940 年投資会社法に基づきオープン・エンド型投資会社すなわちミューチュアル・ファンドとして登録されている。当ファンドは、インベスター受益証券、ETF 受益証券、アドミラル受益証券およびインスティテューショナル受益証券の 4 種類のクラスを提供している。それぞれの受益証券クラスの投資者の適格性および最低購入要件は異なっており、異なった種類の投資者向けに設計されている。Vanguard FTSE Pacific ETF 受益証券として知られる ETF 受益証券は、NYSE Arca に上場されており、ブローカーを通して売買が可能である。

当ファンドは、外国の発行体の証券に投資しているが、かかる証券は米国の会社の証券への投資では通常伴わない投資リスクの対象となることがある。また、2020 年 10 月 31 日現在、当ファンドには日本で発行された有価証券に対する投資への集中があり、かかる投資のパフォーマンスは当該国の社会的、政治的および経済的状況に影響される可能性がある。新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う市場の混乱は全世界に影響を及ぼし、その長期的影響についての見通しは不透明である。このような混乱は、当ファンドの資産に悪影響を及ぼし、その結果当ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性がある。

- A. 以下の重要な会計方針は、米国の投資会社について一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠している。当ファンドは財務諸表作成の際にこれら会計方針を継続的に適用している。
1. 有価証券の評価：有価証券は、評価日におけるニューヨーク証券取引所の終値（通常東部時間の午後 4 時）で評価される。持分証券は、各有価証券が取引されている主な市場から取得した直近の売値または公式な終値で評価される。評価日に約定のなかった有価証券は、直近の売買気配値の仲値を用いて評価される。市場取引価格を容易に入手することができない有価証券、あるいはファンドの価格決定時前で有価証券の主要な取引所の取引終了後に生じた事象により価格が大きく影響された有価証券については、受託者会により公正価値を表すとみなされた方法で評価される。こうした評価手続きには、独立の価格決定サービスから時価を取得することや市場または証券固有の重大な事象を識別するためにニュースをモニターすること、また海外市場の終了時とファンドの価格決定時との間に算出された外国市場における代替指標の価額（例：ADR や先物契約、上場ファンド）の変動を評価することが含まれる。公正価値による価格決定が実施される場合、純資産価額を算出するためにファンドが用いる証券価格は、同じ証券に対する時価または公の価格と異なる可能性がある。Vanguard Market Liquidity Fund に対する投資はファンドの純資産価額で評価されている。短期現物投資は、直近の買値もしくは（有価証券の価格、利回り、満期および格付等の要素を考慮した）マトリクス・システムの評価に基づき評価される。どちらの評価方法も、独立した価格提供者により提供されている。
 2. 非米国通貨：非米国通貨建ての証券ならびにその他の資産および負債は、評価日のファンドの価格決定時現在で独立した第三者から取得した為替レートを用いて米ドルに換算される。投資有価証券に係る実現利益（損失）および未実現評価益（評価損）には、当該有価証券が購入された以降の為替レートの変動の影響が、有価証券価格の変動の影響と共に含まれる。為替レートの変動により生じるその他の資産および負債の価値の変動は、当該資産または負債が現金で決済され、実現為替差益（差損）として計上されるまで、未実現為替差益（差損）として計上される。
 3. 先物契約：当ファンドは、一定の範囲内において、指数先物契約を活用している。これは、株式市場に対する十分なエクスポージャーを維持し、流動性を維持し、取引費用を最小化すると

いった目的のために行われる。当ファンドは、流入資金を市場に迅速に投資するために先物契約を購入したり、資金流出への対応として先物を売却することがある。これによって、流動性確保のために現金残高を維持しながら、基準とする指数に対し十分な投資ポジションを擬似的に持つことができる。先物契約を利用することに伴う主要なリスクは、ファンドが保有する株式の市場価格の変動と先物契約の価格との間で不完全な相関関係が生じることであり、また市場が非流動的になる可能性である。決済ブローカーの代わりに規制された決済機関がカウンターパーティーであるため、先物に伴うカウンターパーティー・リスクは緩和される。カウンターパーティー・リスクをさらに緩和させるために、ファンドは先物契約を取引所で取引し、決済ブローカーや決済機関の財務体質をモニターし、決済ブローカーと決済契約を締結している。決済機関は、当ファンドの履行保証のために当初証拠金を課し、各契約の市場価格の変動を表す変動証拠金を毎日決済することを要求する。未決済契約に対して当初証拠金として差し入れている有価証券は、投資明細表に記載されている。

先物契約は、日次の決済引値で評価される。契約の想定元本額は、資産・負債計算書上には記載されない。契約価値の変動は、契約終了時に先物契約に係る実現利益(損失)として計上されるまでは、資産・負債計算書上で資産(負債)として計上され、損益計算書上では未実現評価益(評価損)として計上される。

2020年10月31日に終了した年度中、各四半期末の平均想定金額によれば、ファンドの先物契約へのロングおよびショートの投資は平均して、それぞれ純資産の1%未満および0%であった。

4. 先渡為替契約: 当ファンドは、未決済の先物契約に関連して適切な通貨エクスポージャーを取るために、先渡為替契約を締結している。これらの契約の利用によるファンドのリスクには、米ドルに対する非米国通貨の価値の変動および契約に基づき債務を履行するカウンターパーティーの能力が含まれる。ファンドは、事前に承認された多様なカウンターパーティーのグループとだけ先渡為替契約を締結することや、その財務体質の監視、カウンターパーティーとのマスター・ネットリング契約の締結、履行保証のためにカウンターパーティーに担保を差し入れさせることなどにより、カウンターパーティー・リスクを緩和している。デフォルトがない場合は、当ファンドが差し入れたあるいは受領した担保は、再担保、転売または二重担保に利用することができない。マスター・ネットリング契約により、カウンターパーティーのデフォルト(倒産を含む)の際に、ファンドは先渡契約を終了し、マスター・ネットリング契約に従いどちらかの当事者に支払義務のある純額を決定し、マスター・ネットリング契約に基づく当ファンドに対する未払金の純額を上限として、保有担保を売却または留保することができる。先渡為替契約には、ファンドの純資産が一定の水準を下回った場合にカウンターパーティーが未決済契約を終了させることができ、契約終了時にファンドが正味負債ポジションにある場合にファンドによる支払義務が発生する条項が含まれている。この支払額は、ファンドが差し入れている担保額だけ減額される。未決済契約に対して担保として差し入れている有価証券は、投資明細表に記載されている。受入または差入担保の価値は、各カウンターパーティーの先渡為替契約のエクスポージャーの価値と毎日比べられ、差額が規定最低譲渡金額を超過している場合には、2営業日以内に調整、決済される。

先渡為替契約は、独立した第三者から取得した毎日の相場価格を各契約の満期日に基づく為替リスクで調整して評価される。契約の想定元本額は、資産・負債計算書上には記載されない。契約価値の変動は、契約終了時に先渡為替契約に係る実現利益(損失)として計上されるまでは、資産・負債計算書上で資産(負債)として計上され、損益計算書上では未実現評価益(評価損)として計上される。

各四半期末の平均想定金額によれば、ファンドの先渡為替契約への投資は平均して、純資産の1%未満であった。

5. 連邦所得税:当ファンドは、規制投資会社としての資格を有し、すべての課税所得を分配することを意図している。当ファンドの税務申告書は、申告書提出後、通常3年後の適用される時効の成立まで関連する税務当局による調査を受ける可能性がある。経営陣は、未確定のすべての課税年度の連邦および州の所得税の申告に関して当ファンドの税務ポジションを分析し、当ファンドの財務諸表に所得税引当の必要はないとの結論に達した。
6. 分配:受益者に対する分配は、分配落ち日に記録される。分配は年度末時点で税法基準によって決定されるため、財務報告目的の純投資収益および実現キャピタルゲインとは異なる可能性がある。
7. 貸付有価証券:当ファンドは、追加収益を得るために、適格機関投資家に有価証券を貸し付けている。有価証券貸付は、随時当ファンドによる解約が可能であり、貸し付けられた有価証券の市場価格と少なくとも同等の担保によって常に保全されることが求められる。日次の時価の変動により、貸付有価証券の価値が受入れ担保価値を上下することになる。この場合、担保は調整され、翌営業日の市場が開く前に決済される。ファンドは、事前に承認された多様なカウンターパーティーのグループとだけ貸付有価証券取引を締結することや、その財務体質の監視、カウンターパーティーとのマスター貸付有価証券契約の締結などにより、カウンターパーティー・リスクを緩和している。マスター貸付有価証券契約により、カウンターパーティーのデフォルト(倒産を含む)の際に、ファンドは当該借手に対する貸し付けを終了し、未払金の純額を決定し、当ファンドに対する未払金の純額を上限として、保有担保を売却または留保することができる。ただし、かかる行動は法的手続きの対象となることがある。担保はカウンターパーティー・リスクを軽減するが、デフォルトの場合は、当ファンドは貸し付けた有価証券の回収が遅延したり、費用がかかることがある。当ファンドは、有価証券貸付期間中、受領した現金担保を Vanguard Market Liquidity Fund に投資し、担保の返済について債務を資産・負債計算書に計上している。担保の Vanguard Market Liquidity Fund への投資は、相場の上昇または下降の影響を受ける。貸付有価証券による収益は、借手に請求される手数料および現金担保による収益から貸付関連費用を控除したものを表している。貸付期間中、当ファンドは貸付有価証券に対して、または貸付有価証券に関連して行われたすべての分配金に対する権利を有する。
8. 借入枠およびファンド間貸付プログラム:当ファンドおよびバンガード・グループ(「バンガード」)が運用する特定の他のファンドは、与信契約に従い、貸し手のシンジケートが提供する43億米ドルの確定借入枠およびバンガードが提供する非約定ベースの借入枠に参加している。いずれの借入枠も毎年更新され得る。各ファンドは、当該借入枠の下での自らの借入金に関して、個々に責務を負う。借入金は一時的または緊急の場合に利用され、当ファンドの規制上および契約上の借入規則の対象となる。確定借入枠に関連して、参加するファンドには、管理費および確定借入枠の未使用金額の0.10%の年間コミットメントフィーが課せられる。かかる手数料は、ファンドの受託者が承認した方法に基づいて各ファンドに賦課され、当ファンドの損益計算書の「マネジメントおよび管理」に含まれる。いずれかの借入枠に基づく借入金には、1か月物のロンドン銀行間取引金利(または、必要な場合の受入れ可能な代替金利)、実効フェデラルファンド・レートまたは翌日物銀行調達金利のいずれか高い金利に、合意されたスプレッドを加算したものに基いた金利が付される。ただし、非約定ベースの借入枠に基づく借入金には、当ファンドとバンガードとの間で合意された代替金利に基づいた金利を付すことができる。

SEC からの除外命令に従い、当ファンドは、除外命令の条件の順守を条件として、かつ当ファンドの投資目的および投資方針で許容される範囲内で、登録されたバンガードのオープン・エンド型ファンドが一時的または臨時的な目的で相互に金銭の借入および貸付を行うことを可能にする共同貸付・借入プログラム(以下、「ファンド間貸付プログラム」)に参加することができる。ファンド間の貸付および借入は通常、翌日物であるが、最長で 7 日間を期間とすることができる。貸付金は、同営業日の返済要求が可能である。付される金利は、除外命令の条件および受託者会が採用した内部手続きに従う。受託者会は、ファンド間貸付プログラムの監督責任を負う。

2020 年 10 月 31 日に終了した年度に、当ファンドは借入枠もファンド間貸付プログラムも利用しなかった。

9. その他: 配当金収益は、配当落ち日に計上される。利息収益は、Vanguard Market Liquidity Fund から受領した利益分配を含み、日次で計上される。負債証券のプレミアムとディスカウントは、個々の証券の残存年数にわたり、それぞれ利息収益について償却および増価される。ただし、一定の償還可能負債証券のプレミアムは、最も早い償還可能日までの期間にわたって償却される。有価証券取引は、有価証券が売買された日に会計処理される。投資有価証券の売却に係る実現利益(損失)を決定するために用いられる原価は、売却された個別有価証券の原価である。

各クラスの受益証券は、資産および利益に対して同等の権利を有する。ただし、各クラスは別々に、受益者口座の維持(マネジメントおよび管理費用に含まれる)および受益者報告に係る一定のクラス固有の費用を負担する。マーケティングおよび販売費用は、受託者会が承認した方法に基づいて受益証券の各クラスに配分される。収益、その他特定のクラスに帰属しない費用、投資に係る損益は、相対的な純資産額に基づいて受益証券の各クラスに配分される。

- B. バンガードとファンドの間のファンド・サービス契約(「FSA」)の条件に従い、バンガードはファンドに投資顧問、コーポレート・マネジメント、管理、マーケティングおよび販売サービスを FSA における定義に従ったバンガードの運営実費で提供している。こうした運営実費は、受託者会が承認した方法および指針に基づいてファンドに賦課され、通常、月に 2 回決済される。

バンガードからの要請に応じて、当ファンドは、純資産の 0.40%までバンガードの資本に投資することができる。2020 年 10 月 31 日現在、当ファンドはバンガードの資本に対して 270,000 米ドル拠出しており、この額は当ファンドの純資産の 0.01%未満および FSA に従って受領したバンガードの資本の 0.11%に相当する。当ファンドの受託者および役員は、それぞれ、同時にバンガードの取締役および従業員である。

- C. 当ファンドのカストディー銀行は、当ファンドが無利息のカストディー口座に預金を保有する場合には、報酬を減額することに同意した。2020 年 10 月 31 日に終了した年度に、カストディー報酬相殺の取決めにより、当ファンドの費用は 125,000 米ドル削減された(平均純資産の年率 0.01%未満)。

- D. 様々なインプットを用いて当ファンドの投資証券およびデリバティブの価値を決定することがある。こうしたインプットは、財務諸表目的において広く3つの階層に要約される。有価証券を評価するのに使われるインプットまたは手法が、必ずしもこうした証券への投資に伴うリスクを表すわけではない。

レベル1 - 活発な市場での同一の有価証券の取引価格

レベル2 - その他重要な観察可能なインプット(類似する有価証券の取引価格、金利、期限前償還率、信用リスクを含む)

レベル3 - 重要な観察不能なインプット(投資の公正価値を決定する際に用いられるファンド独自の仮定を含む)。重要な観察不能なインプットで評価される投資証券およびデリバティブは、投資明細表に記載されている。

以下の表は、2020年10月31日現在の当ファンドの投資証券およびデリバティブの市場価格を、評価に用いたインプットに基づき要約したものである。

(千米ドル)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資証券				
資産				
普通株式	1	6,268,647	2,249	6,270,897
短期現物投資	43,251	2,000	—	45,251
合計	43,252	6,270,647	2,249	6,316,148
デリバティブ金融商品				
負債				
先渡為替契約	—	212	—	212

- E. 2020年10月31日現在、デリバティブの公正価値は以下の通り資産・負債計算書に反映されている。

(千米ドル)

資産・負債計算書上の勘定科目	株式契約	外国為替契約	合計
未実現評価損—先渡為替契約	—	212	212

2020年10月31日に終了した年度において、デリバティブに係る純実現利益(損失)および未実現評価益(評価損)の変動は以下の通りである。

(千米ドル)			
デリバティブに係る純実現利益(損失)	株式契約	外国為替契約	合計
先物契約	5,369	—	5,369
先渡為替契約	—	551	551
デリバティブに係る純実現利益(損失)	5,369	551	5,920
デリバティブに係る未実現評価益(評価損)の変動			
先物契約	(3,094)	—	(3,094)
先渡為替契約	—	(324)	(324)
デリバティブに係る未実現評価益(評価損)の変動	(3,094)	(324)	(3,418)

- F. 純資産の構成要素の簿価ベースと税務ベースの間の永久差異は、税務上の性質を反映して財務諸表において資本勘定間で組替が行われる。こうした組替は、純資産にも1口当たり純資産価値にも影響は与えない。期末現在、主として現物償還、非米国通貨取引および受動的外国投資会社に係る会計処理に起因する永久差異が、以下の勘定科目間で組み替えられている。

	金額 (千米ドル)
払込資本金	36,784
分配可能利益(損失)総額	(36,784)

分配可能利益(損失)総額の構成要素の簿価ベースと税務ベースの間の一時的差異は、収益、利益または損失の特定項目が財務諸表目的と税務目的において異なる期間に認識される場合に発生する。こうした一時的差異は、将来のある時期において解消される。差異は主として、値洗いによる損失の繰延べ、一定のデリバティブ契約に係る未実現利益または損失の認識、受動的外国投資会社に係る未実現利益の認識および税務目的上の有価証券の分類に関連している。期末現在、分配可能利益(損失)総額の税務ベースの構成要素の詳細は、以下の表の通りである。

	金額 (千米ドル)
未分配経常利益	62,551
未分配長期利益	—
繰越キャピタルロス	(180,102)
適格年末損失	—
純未実現利益(損失)	(608,660)

支払った分配金の税務上の性格は、以下の通りである。

	2020年10月31日に 終了した年度	2019年10月31日に 終了した年度
	金額(千米ドル)	
経常利益*	157,975	195,258
長期キャピタルゲイン	—	—
合計	157,975	195,258

* 短期キャピタルゲインを含む。

2020年10月31日現在、投資証券およびデリバティブの米国連邦所得税目的の原価に基づいた未実現評価益および評価損の総額は、以下の通りである。

	金額 (千米ドル)
税務上の原価	6,923,869
未実現評価益総額	1,479,505
未実現評価損総額	(2,088,539)
純未実現評価益(評価損)	(609,034)

- G. 2020年10月31日に終了した年度中に、当ファンドが購入した短期現物投資以外の投資有価証券は457,189,000米ドル、売却額は691,306,000米ドルである。購入および売却には、ファンドの資本持分の現物による購入および償還のそれぞれ235,377,000米ドルおよび298,545,000米ドルが含まれる。

H. 受益証券の各クラスの資本持分取引は、以下の通りであった。

	2020年10月31日に 終了した年度		2019年10月31日に 終了した年度	
	金額 (千米ドル)	口数 (千口)	金額 (千米ドル)	口数 (千口)
インベスター受益証券				
発行	1,916	152	43,420	3,438
現金分配に代えて発行	244	19	4,307	372
買戻し ¹	(3,318)	(265)	(267,085)	(21,347)
純増加(減少)額 - インベスター受益証券	(1,158)	(94)	(219,358)	(17,537)
ETF 受益証券				
発行	352,731	5,463	98,576	1,493
現金分配に代えて発行	—	—	—	—
買戻し	(338,447)	(5,700)	(539,549)	(8,300)
純増加(減少)額 - ETF 受益証券	14,284	(237)	(440,973)	(6,807)
アドミラル受益証券				
発行 ¹	269,792	3,400	429,129	5,326
現金分配に代えて発行	46,110	544	52,040	680
買戻し	(461,461)	(6,021)	(334,976)	(4,198)
純増加(減少)額 - アドミラル受益証券	(145,559)	(2,077)	146,193	1,808
インスティテューショナル受益証券				
発行	43,105	3,713	90,651	7,402
現金分配に代えて発行	7,616	588	9,282	792
買戻し	(146,923)	(12,139)	(65,910)	(5,326)
純増加(減少)額 - インスティテューショナル受益証券	(96,202)	(7,838)	34,023	2,868

1 2018年11月、当ファンドはインベスター受益証券およびアドミラル受益証券のクラスについて、購入可能性および最低投資基準の変更を発表した。その結果、バンガードの運用下のファンドおよびその他の機関投資家が保有する受益証券を除き、すべての発行済のインベスター受益証券は、2019年4月よりアドミラル受益証券へ自動的に転換された。インベスター受益証券の買戻しおよびアドミラル受益証券の発行には、2020年10月31日に終了した年度における2,000米ドルの転換、それぞれ151口および23口が含まれている。インベスター受益証券の買戻しおよびアドミラル受益証券の発行には、2019年10月31日に終了した年度における199,625,000米ドルの転換、それぞれ15,992,000口および2,464,000口が含まれている。

I. 経営陣は、当財務諸表で認識または開示しなければならない、2020年10月31日以降に生じた事象または取引はないと判断した。